

PhDs, Change the Future



大学院教育改革 フォーラム 2024

2024 Forum for Graduate School
Educational Reform

2024

11/15^{Fri} — 11/16^{Sat}

Venue

名古屋大学 東山キャンパス

一部オンライン配信



2014年ノーベル賞受賞
天野先生御登壇!

将来の社会・経済を担う高度な「知のプロフェッショナル」養成への希求が日々高まる中、大学院政策として平成14年度の GCOE プログラム、平成23年度の博士リーディングプログラム、平成30年度の卓越大学院プログラムが行われてきました。これら先導的なプログラムにおける取組・成果を、広く今後の大学院教育改革に活用することが重要です。そこでこの度、様々な分野で活躍している博士課程教育リーディングプログラムおよび卓越大学院プログラムの修了生の話を聞くことができる場、博士人材の採用を検討している組織と直接交流する場として本フォーラムを企画しました。また、博士学生が自身の課題意識をもとに「博士が社会でより活躍するための提言」を行い、大学・企業・関連省庁と対話する場も設けます。参加者の皆様には、博士学生の高度な専門性とそれを活かすトランスフェラブルスキルの優れた面を直接ご覧いただきたいと考えています。本フォーラムが、博士の「未来」を変え、そして博士が「未来」を変える契機になることを期待しています。

卓越大学院プログラム
WISE Program


名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY


博士課程
教育推進機構
Doctoral Education Consortium


DII
program


GTR


CIBoG
Nagoya Univ.


TMI

ご挨拶



気候変動、新たな感染症、世界的な人口増加と日本国内の人口減少、エネルギー・食料・水の枯渇、戦争や紛争など、私たちのまわりでは、さまざまな問題が複雑に絡み合って発生し続けています。グローバル化した現代社会では、一見関係なさそうなことが、多かれ少なかれ自身の生活に影響してきます。こういった問題の解決・解消・軽減化には、高度な専門性と豊かな発想力を持つあらゆる分野の博士人材の連携が不可欠です。

今回のフォーラムのテーマ「PhDs, Challenge the Future」は、このような背景のもと、2つの意図をもって設定しました。1つ目は、参加する博士課程の皆さまの研究が、どのような形で未来の社会に貢献し得るのかを、皆さま自身が考え直す機会を提供することです。このプロセスを通して、自らが抱く社会像に近づくには、何が足りないか、どういった方と協力をすべきかを考えていただきたいと思います。2つ目は、それを実現するための一歩を踏み出す機会とすることです。このフォーラムの中で、他の博士課程の皆さまの活動や修了した皆さまの活躍を見ていただき、従来の研究の枠を超えて挑戦する意欲を自身にかきたてていただければと思います。皆さまの活躍こそが、未来をつくる原動力です。このフォーラムが、次につながる勇気を持つきっかけとなれば、大変嬉しく思います。

藤巻 朗

名古屋大学 副総長（教育・留学生担当）
大学院教育改革フォーラム2024事業責任者

プログラム

1日目 11月15日(金) 10:00-12:50, 13:10-18:00, 18:15-19:30

9:45～	受付	
10:00～12:50	企業ブース	豊田講堂シンポジオンおよびホワイエ
12:30～	開場	
13:10～13:30	開会の辞：杉山 直(名古屋大学 総長) 開会挨拶：文部科学省 独立行政法人 日本学術振興会	豊田講堂ホール zoom
13:30～14:15	基調講演：北 弘志(コニカミノルタ株式会社 技術開発本部 技術顧問) 博士人材の活躍事例紹介：野場 考策(コニカミノルタ株式会社 技術開発/名古屋大学「トランスフォーメティブ化学生命融合研究大学院プログラム」修了生)	豊田講堂ホール zoom
14:30～16:00	リーディング・卓越大学院修了生事例紹介 パネルディスカッション パネリスト：基調講演および事例紹介登壇者 モデレータ：荘司 長三(名古屋大学 卓越大学院プログラム トランスフォーメティブ化学生命融合研究大学院プログラム(GTR) 教授)	豊田講堂ホール zoom
(コーヒープレイク)		
16:30～18:00	パラレルセッション 【プログラム関係者向け】 「合理的配慮：なにをどこまでどうするの？」 話題提供：工藤 晋平(名古屋大学 学生支援本部アビリティ支援センター 室長 准教授) 【大学院生・企業関係者向け】 学生成果発表 第一次選抜 「博士の10年後を見据えた未来共創に向けた提言」	調整中
18:15～19:30	レセプション(企業ブース)	豊田講堂シンポジオンおよびホワイエ

主な登壇者



北 弘志氏

コニカミノルタ株式会社
技術開発本部 技術顧問

1987年東北大学大学院 工学研究科 応用化学専攻修士修了後、現在のコニカミノルタ(株)にてカラー写真、有機EL等の機能性化合物の開発に従事。それらの研究成果をまとめ2015年東北大学大学院理学研究科にて博士(理学)取得。2017年～技術フェロー(役員)。2024年～現職。2018年以降は機械学習を採り入れた研究開発を主導し、2021年～2023年まで先端素材高速開発技術研究組合(ADMAT) 理事長を兼務。現在、名古屋大学卓越大学院GTR運営委員、広島大学デジタルものづくり教育研究センター客員教授、東京工科大学客員教授として産学連携を推進。



天野 浩氏

名古屋大学
未来材料・システム研究所
未来エレクトロニクス集積研究センター
センター長・教授

1988年4月名古屋大学工学部助手、1992年4月名城大学理工学部講師、助教授を経て2002年4月名城大学理工学部教授。2010年4月名古屋大学大学院工学研究科教授。2015年10月名古屋大学未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス集積研究センター長・教授に就任。2014年、文化功労者顕彰、文化勲章受章。また、故赤崎勇博士、中村修二カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授と共に「高輝度、省エネルギーの白色光源を可能とした高効率青色発光ダイオードの発明」にて2014年ノーベル物理学賞を受賞した。現在は、名古屋大学において高効率パワー半導体など新たな省エネルギーデバイスの創成に向けた研究を進めている。

2日目 11月16日(土) 9:00-12:15, 12:30-14:00

8:45～	受付・開場	豊田講堂ホール
9:00～10:00	学生代表グループ成果発表 「博士の10年後を見据えた未来共創に向けた提言」	豊田講堂ホール
10:10～11:00	学生の提言に対する返答 大学・政府・企業関係者より	豊田講堂ホール
11:00～11:35	ノーベル賞受賞者・天野先生と名古屋大学・杉山総長の対談 「未来を創る博士たちへのメッセージ」	豊田講堂ホール
11:35～12:15	学生表彰 引き継ぎ式 閉会の辞：藤巻 朗(名古屋大学 副総長)	豊田講堂ホール
12:30～14:00	企業ブース	豊田講堂シンポジオンおよびホワイエ